

Information about flower in Kitakyushu

北九州市建設局
公園緑地部緑政課花とみどり係
〒803-8501 小倉北区城内1-1
TEL.093(582)2466

北九州市 お花 検索



花新聞

2014
vol.38

人生の節目や
暮らしの中で
彩りを添えてくれる「花」。
そんな花づくりを通して
人が、街が、
元気になっています！



花づくりで
地域を元気に！



花壇の花で
アレンジメント



楽しい花づくり
仲間♪



市民参加で
花のイベント！



わたしの
はなの「わ」



学校と幼稚園が
一緒に花づくり♪



すてきな花の
スポットへ取材



フラワーコーディネーターさんの
アドバイス！



「北九州市内の花のスポット、庭や市民花壇の取材を重ねていくと、『きれいねという一言が嬉しくて花を育てることに夢中になり、気づくと自分の方が草花に元気をもらっている。』という声をたくさん伺いました。」と語るのは、長年花新聞レポーターとして様々な花づくり団体へ取材をされている園田静佳さん。

今号は花を通して広がったコミュニティや、花がきっかけで生まれたエピソードについて、北九州市で花づくりをされる市民の方々にお伺いしました。

めざせ!花の匠
第19回 北九州市
花と緑の
まちづくりコンクール

花や緑づくりを
されているみなさん、
ぜひご応募ください!

→応募詳細は
4Pへ



現在、メンバーは15人程。活動日は毎週火曜日
10時~13時で雨天決行。(代表 林光院 栄子さん)
季節を楽しむ企画、梅干し、梅味噌作り、漬け物
教室などもあり毎週活動日が待ち遠しいそうです。

花づくりを広げるアイデア 楽しむ工夫



まず驚いたのは、花壇で花、ハーブ、果樹、野菜を分け隔てなく一緒に育てる新しいスタイル。「昨年ハープと一緒に虫に食べられたけどハープと一緒に植え込むと病害虫の発生が少ないみたい」とハーブに囲まれた美しい葉が並ぶ一角をよく見ると大根葉です。見て美しく、食べて美味しい花壇!花が咲くと実がなることを実感します。さらに収穫があった時のお楽しみ、採れたて野菜で作るランチはたまらなく美味しく、大きな喜びだそうです。

花まち
ニュース

魅せる!食べる!! 文:園田静佳
花咲くポタジェの市民花壇

一昨年、三六市民センターで開催された堆肥コンポスト講座。今回はこの講座での交流から生まれた市民花壇のボランティア活動、「ポタジェ三六」に注目です。



花新聞
レポーター
園田静佳
クロスFM
ニュースライン
アナウンサー

今回取材させていただいた「ポタジェ三六」さんでは摘みだてのレモンバーム、レモングラス、レモンバーベナーに熱湯を注いだだけのハーブティーがとても美味しく、作業後の体にしみいるように感じて感動していると帰りにハーブをお裾分け。いただいたハーブは我家の庭で育っています。

四季がある日本。四季折々の草花に触れるとつくりしりなど自然の中で遊んだ記憶も蘇り、自然と共存していることを実感します。

第18回花咲くまちづくりコンクール
(団体部門) コミュニティ賞受賞

ポタジェ三六 (戸畑区)

ポタジェとは?

野菜や果樹、ハーブや草花などを混植した実用と鑑賞の目的を併せ持った庭のことです。

コンパニオンプランツ

一緒に植えることで互いの成長により影響を与えるコンパニオンプランツという植物の組合せがあります。例えば、ネギとエンドウ、ローズマリーとキャベツ、マリーゴールドとトマトなどを組合せて植えることで病害虫を防ぐことができます。この考え方をもとにポタジェはデザインされます。

ポタジェをもっとすてきに!

インゲンやサヤエンドウなどツル性の植物で高さを出して立体的に!



リーフレタスや赤シソ、スイスチャード(フダンソウ)など色どり豊かな葉物野菜は花壇のアクセントになります。



ランチタイム「唐辛子の葉はさつとゆでて煮ると美味しいよ」「へー」「ほー」と感心する声飛び交います。継続的に人が集まるようにと取り入れたアイデアが光る活動です。取材に訪れた日、収穫したじゃがいもで作った肉じゃがを前に井手由美子さんがぎゅつと握った手を開き「こんなに小さくてシワシワのじゃがいもも食べるの。自分達で作ったのは大事に思うし本当に美味しい。不思議ね。農家の方の大変さもわかって感謝の気持ちが生まれる」と話してくれました。

また鹿児島由来ササゲや宮古島の黒小豆など珍しい野菜を見つけたら挑戦して育ててみるのも楽しみのひとつのこと。

美しい景色と採れたての美味しさが楽しめるポタジェ。みなさんもチャレンジしてみませんか?

1. 昨年、30代の宇高日出徳さんが活動に仲間入り。力仕事など助かるとおばちゃん達に頼りにされています
2. ランチタイム。肉じゃが、ニラ玉、野菜の炒めもの、じゃがいものみそ汁など。ほかに持ち寄った柿やリンゴ、みかんなどでテーブルはいっぱい。
3. ネギが花壇にこんなに合うなんて! 食べるのは魅力的だが見た目の美しさにもこだわる。

プランター栽培 注意点!

土の表面が乾いているからとすぐに水をやる前にチェック!プランターの底に水が溜まっていませんか?根腐れの原因にならないよう水のやりすぎには気をつけて!



4

4.生徒一人が一つのプランターを年に3回植え替えます。



5

5.地域の方が作ってくれた通学路の花壇に花苗を植えます。



第18回花咲くまちづくりコンクール (学校部門) ひまわり賞受賞

北九州市立 早鞆中学校 (門司区)



第23回
全国花のまちづくり
コンクール
花のまちづくり
奨励賞

この活動を継承し、今後は地域の方にも校内の花植えや管理活動に入ってもらって地域全体での花づくりを目指したいと意気込みを語られました。

喜ぶ坂田恵司校長。

「近隣の方が『良くなったね』と声をかけてくださるんですよ。」と生徒が作ったプランターを、バス通りに並べたり、地域の小学校と合同で花苗を植えたり、花づくりの活動は校内だけに止まりません。

「6年前、せっかく花を植えたプランターが無惨に壊されていた。『花づくりを始めた当初は言葉に表せないほど大変でした。』かつての様子を知る校務員の平野雄司さんはそう話されました。

学校を変えた花づくり

花づくりは、荒れていた学校を変えようとする当時の校長たちが始めた「心を育むため」の取り組みの一つでした。運動部の生徒とPTAの有志の協力の下、初めて行われたプランターの花植え。その後、植えたばかりのプランターは一部の生徒によって壊されてしまいます。それに怒った生徒たちが意見を集め校内新聞に掲載。「罪のない花が何故?!許せない!!!」

そんな事件もあり、生徒達の意識は花づくりを続けるうちに少しずつ変化したそう。

早鞆中学校では、育てる花苗はすべて一年草。「育てる過程」が大切だと考えるからです。花を育てているということ

を認識してもらうため、花の管理はあえて生徒の目につく休み時間に行っているそうです。

生徒が作ったプランターを、バス通りに並べたり、地域の小学校と合同で花苗を植えたり、花づくりの活動は校内だけに止まりません。

「近隣の方が『良くなったね』と声をかけてくださるんですよ。」と喜ぶ坂田恵司校長。

この活動を継承し、今後は地域の方にも校内の花植えや管理活動に入ってもらって地域全体での花づくりを目指したいと意気込みを語られました。

地域全体でつなげたい!

第18回花咲くまちづくりコンクール (個人部門) ひまわり賞受賞

宮内 稔 さん (小倉南区)



第23回
全国花のまちづくり
コンクール
花のまちづくり
入選(個人部門)

自宅前を飾るハンギングは圧巻!鮮やかな花の色とボリュームに思わず目を見張ります。

「種から育てるのは3〜4割、葉物は株分けか挿し芽」など土作りから花の配置まで、本で調べたり、実際に試しながら花づくりの経験を培いました。しかし日中は仕事で家にいないため、育てた花をせっかく見にきてくれる人がいても、話をしたり一緒に花づくりをする機会があまりなかったのだそう。

「ずっと独学で花を育ててきたので、今まで人に教わったことがなかったんです。」と話するのは北九州市の花咲くまちづくりコンクールの個人部門で連続受賞を続ける宮内稔さん。12年前に引越してきてから本格化した花づくり。今では約100種類、数にしておよそ70〜80鉢もの花を育てています。

「西日が強いので夏は保水性を保つため赤玉土や田んぼの土の割合を多く、冬には腐葉土を増やす」

「種から育てるのは3〜4割、葉物は株分けか挿し芽」など土作りから花の配置まで、本で調べたり、実際に試しながら花づくりの経験を培いました。しかし日中は仕事で家にいないため、育てた花をせっかく見にきてくれる人がいても、話をしたり一緒に花づくりをする機会があまりなかったのだそう。

培った花づくりの力 広がる人の縁

最近、市のフラワーコーディネーター制度に申し込んだことがきっかけで、講座や活動を通して花づくりの話をしたり、一緒に活動をする人の輪が広がりました。

「知らなかったことがたくさんありました。学ぶことや他のコーディネーターさんと一緒に活動することが楽しい。」と語る宮内さん。

今年度は全国花のまちづくりコンクールで2年連続の入賞も果たし、ますます花づくりに力が入ります。



種から育てた苗たち

花まち Lesson

美しいハンギングを作る
宮内さんにこだわりを
聞いてみました!

花姿を生かし、ボリュームを出すために、花苗は買ってきたらすぐピンチ(茎や枝の先端を切除すること。)します。もったいないと考えず全てピンチ!植えた鉢の大きさに花苗が成長するまで2回はピンチし、芯は挿し芽にします。



ひまわりBIGリコンテスト in school

第4回「ひまわりBIGリコンテスト in school」開催にあたりたくさんのご応募ありがとうございました。第37回都市緑化祭において表彰を行いました。



第5回「ひまわりBIGリコンテスト in School」の募集

平成26年度も引き続き行います！ご応募お待ちしております！

応募期間 平成26年 **7/1 (火) ~ 8/31 (日)** **必着**

応募対象 市内の小・中学校・特別支援学校

応募方法 応募用紙及び写真(3枚)を添え、建設局緑政課花とみどり係へ送付。

たくさんの参加
まってます



花と緑の めざせ！花の匠

第19回 北九州市 まちづくりコンクール

今回より「花づくり」に加え「緑づくり」も募集対象となりました。

※応募期間 平成26年 **3/1 (土) ~ 4/30 (水)**

※応募対象 市内で花と緑づくりを行う個人・団体・学校・企業などを対象に、部門別に募集。

※応募方法【郵送の場合】 応募用紙に必要事項を記入の上、建設局緑政課花とみどり係へ送付してください。応募用紙は、各市区役所総務企画課、まちづくり整備課、出張所などに用意しています。緑政課ホームページからもダウンロードできます。

【電子申請の場合】 緑政課ホームページ内「花と緑のまちづくりコンクール要項」に掲載の電子申請窓口より必要事項を入力の上、ご応募下さい。

緑政課ホームページ

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/ken-ryokusei.html>



北九州

花の見どころカレンダー



※開花時期は気象条件によりずれることがあります。

公園名	区	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
北九州市立白野江植物公園 【問合せ】TEL:093-341-8111 入園料：一般200円、小中学生100円 団体160円(20名以上) 開園時間：9時～17時 ※休園日：毎週火曜日 (2月～6月、9月～11月は毎日開園)	門司	カワツザクラ				ハナショウブ		
			ソメイヨシノ					
				ギョイコウ		スイレン		
				カンザン				
				シャウナゲ			アジサイ・ヤマアジサイ	
				ボタン				ハス
到津の森公園 【問合せ】TEL:093-651-1895 入園料：一般800円、中高生400円 4歳～小学生100円 開園時間：9時～17時 ※休園日：毎週火曜日(3/25(火)は開園)	小倉北		ウメ					
					ヒトツバタゴ			
				ミモザ			アジサイ	
					シダレザクラ			
					ソメイヨシノ		ネム	ミソハギ
北九州市立総合農事センター 【問合せ】TEL:093-961-6045 入園料：無料 ※一部施設有料 開園時間：9時～16時30分	小倉南		チューリップ					
			ウメ		フジ	アジサイ		サルスベリ
				サクラ		バラ	アメリカノウゼンカズラ	ギンバイカ
					ツツジ		ムクゲ	
平尾台自然の郷 【問合せ】TEL:093-452-2715 入園料：無料 開園時間：9時～17時 ※休園日：毎週火曜日	小倉南			芝桜				
					シラン		キキョウ	

北九州市立 白野江植物公園

■牡丹・しゃくやくまつり
5/3(土・祝)～5/5(月・祝) 予定



牡丹やシャクヤクなど春の花の賑わいにあわせて、地元特産物や植木・花苗販売、ミニコンサートやクイズラリーなど開催。

<その他イベント>

■さくらまつり 3/29(土)～4/6(日)

■アジサイ・ギボウシ展

6月～7月(予定)

■ハス展 7月(予定)

到津の森公園



■ミモザ・サクラフェア
3/1(土)～3/31(月) 予定

この季節、九州最大級約100本のミモザが花をつけます。さらに、ミモザに続きサクラも開花します。

北九州市立 総合農事センター

■春蘭花展

3/15(土)～3/16(日)

■えびね蘭展示会

4/18(金)～4/20(日)

■春季小品盆栽展示会

4/24(木)～4/27(日)

■山野草及び盆栽展示会

5/3(土・祝)～5/5(月・祝)

■さつき花季展示会

5/23(金)～5/24(日)

■初夏の斑入り山野草展

6/7(土)～6/8(日) 他多数

平尾台自然の郷

■ブルーベリー摘取り体験
6月下旬～8月末



毎年恒例のブルーベリーの摘取り体験を期間中開催！

【1日限定30名】

<その他イベント>

■みどりの日花苗無料配布

5/4(日)10時～【限定1000名】

■平尾台観光まつり

7/26(土)17時～21時